



## 編集後記

月の選挙でどんな人物が政権を担うのか心配しています。

■：小笠原諸島の父島は素晴らしい環境に恵まれて春真っ盛りを楽しんでいるものの、4つあるダムが晴天のせいで貯水量がそれぞれ20%しかありません。水不足もここまで来ると日常生活にできめに影響して来るもので。地震、雷、火事、オヤジの昔からの言い伝え、やはり自然の摂理―物の表面に現れた模様人間、おとなしく従うものなんでしょうね。

■：去る3月22日、英ロンドン中心部の国会議事堂前でテロ事件が発生しました。驚きましたね。あのロンドンで、我が国で言えば、永田町や霞が関で発生したのと同じこと。今のサクラの季節、日本中、内外の観光客で大賑わい。平和を享受できてこんな幸せなことはありません、唯一心配の種は、朝鮮半島の北から例えば日本海に弾道ミサイル4発が飛来。政治家の皆さん、これ、何とかありませんかね。

■：国会では、石原某喚問で豊洲問題、森友学園問題で総理夫人が絡む議論云々とか、全般に次元の低い論議で日々過ぎて行く感じがします。安倍政権が安泰で政治家はのんびり昼寝を楽しむという図なんではないか。

在日韓国人の友人の中には女性大統領の収賄容疑騒ぎにがっかり。5

韓国次期大統領の有力候補の1人が、真正面から「反日」を唱えて有権者に呼びかけ、このスローガンが大受けという評判が日本にまで聞こえて来ます。東南アジア諸国で「反日」の声など聞いたこともありません。

■：米国の新大統領トランプ氏が就任してから2カ月以上たちますが、各種規制案で反対する有力州が続出、一般の米国市民は顔をしかめて批判するか、じーっと我慢するか。日本政府は、今までのところ、我が国の政策とか方針で真正面からぶつかり合うケースはありませんが、最近来日したテイラーソン米国務長官と安倍首相、岸田外相との会見で「北朝鮮の核・ミサイル開発は断じて容認できない」という合意はまだしも、「過去20年間の対北朝鮮政策は失敗だった。新たなアプローチが必要だ」と表明しているあたり、ちよつと心配になります。日米韓の連携強化で、

■：ベトナム国籍の一家4人が2015年に松戸市に転居、平和に暮らしていたのが、去る3月24日朝、娘のニヤット・リンさん(9)が小学3年IIが千葉県我孫子市北新田の草地で、首を絞められ全裸で倒れているのが見つかりました。教室でもクラスの人気者、賢く、朗らかな少女に一体何が起ったのでしょうか。国を挙げ、平和と安全を世界に向けて唱えていても、この種の悲劇が起るとイメージは一挙に悪化、「日本には怖くて行けない」と思われます。恐ろしいことです。

■：いよいよタバコが自由に吸えなくなりましした。「受動喫煙防止条例」が全面的に普及。どこへ行っても「禁煙」の看板が睨み返しています。人間の趣味・趣向のあり方を深く考える時代の到来でしょうか。どこか自由で伸びくると生かされる場所はないものですかね。

<b>月刊公論</b> <b>MONTHLY</b> <b>KORON</b>	発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志 発行所 株式会社財界通信社 〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
	印刷所 株式会社廣済堂 取次店 日本出版販売/大阪屋栗田 ●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。 ●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。
<b>5月号</b> 第50巻 5号 平成29年5月1日発行 毎月20日発売 本体価格848円(税別) 送料86円	